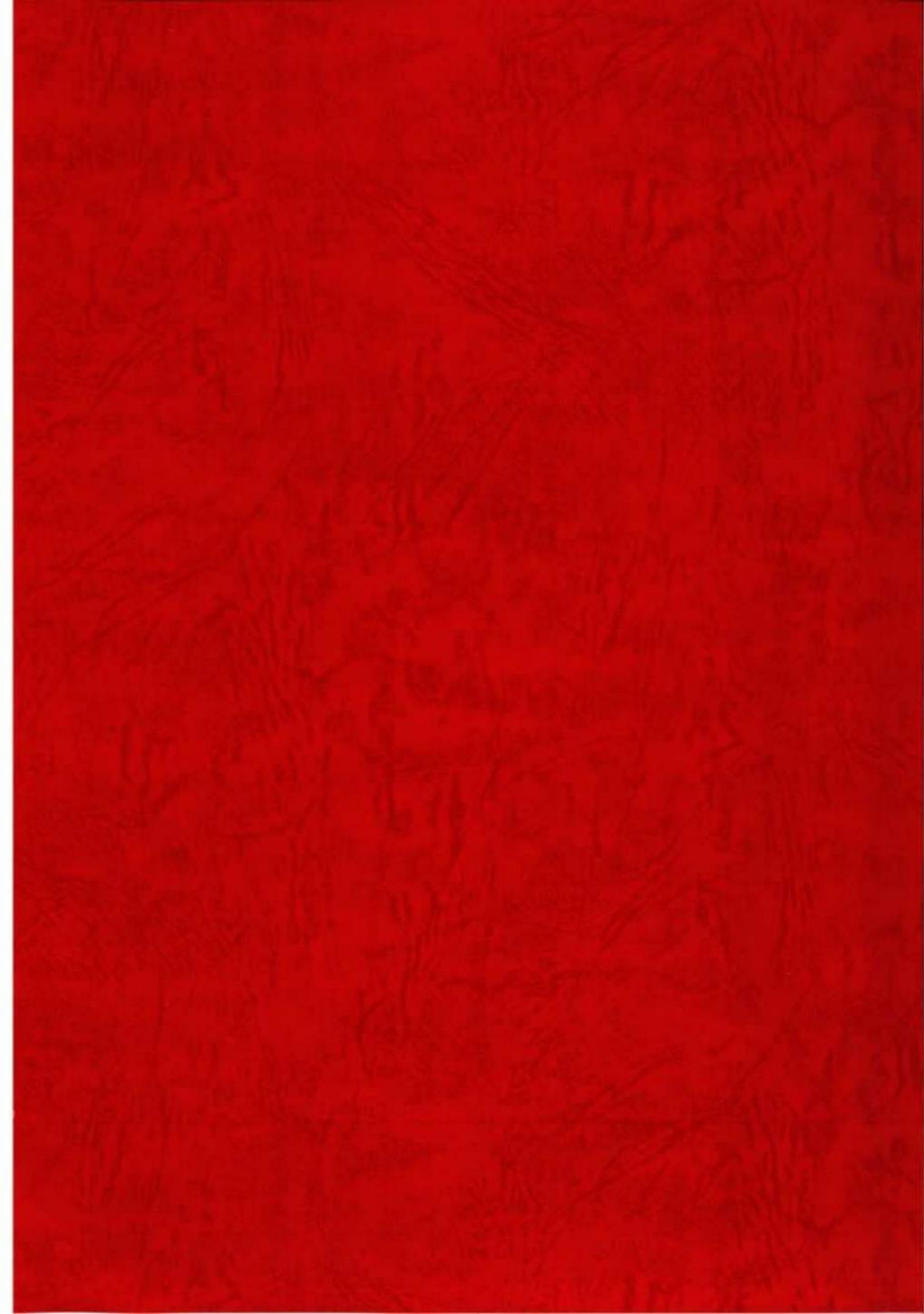


田尻町内遺跡群発掘調査概要 8

2007.3

泉南郡田尻町教育委員会



は じ め に

埋蔵文化財（遺物・遺構）を包蔵している遺跡は、普段は私達の目に触れるることは、ほとんどありません。地中の中で長い年月の間、遺構や遺物などの埋蔵文化財は保存されてきました。しかし、近年開発等による掘削工事により埋蔵文化財が破壊されてきています。

遺跡には、先人達の大切なメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本町は、平成18年度埋蔵文化財国庫補助事業として田尻町教育委員会が実施した開発確認調査や試掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するに当たり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成19年3月31日

泉南郡田尻町教育委員会
教育長 二澤 隆史

例　　言

1. 本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成18年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は泉南郡田尻町教育委員会社会教育課文化財保護係 中野篤史を担当者として、平成18年4月1日に着手し、平成19年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の標高はT.P.（東京湾平均潮位）を用い、また方位については磁北を示す。
4. 調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。
阪田裕美子、河瀬一裕
5. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。感謝の意を表する。
6. 本書の執筆、編集は中野、阪田がおこなった。
7. 本書は、平成18年1月から平成18年12月までに実施した調査を掲載し、平成19年1月以降分については、次年度の概要報告書に掲載する。

目 次

第1章 埋蔵文化財調査の現状

1. 田尻町の位置と環境	1
2. 平成18年度の埋蔵文化財調査の現状	1
3. 各遺跡の概要	3

第2章 調査の概要

各種開発確認調査 01	5
各種開発確認調査 02	6
各種開発確認調査 03	7
各種開発確認調査 04	8
まとめ	8

報告書抄録	卷末
-------	----

挿 図

図1 田尻町位置図	1
図2 遺跡分布図	4
図3 調査地点位置図（各種開発確認調査 01）	5
図4 調査区設定図（各種開発確認調査 01）	5
図5 トレンチ 1・2 断面図（各種開発確認調査 01）	6
図6 調査地点位置図（各種開発確認調査 02）	6
図7 調査区設定図（各種開発確認調査 02）	6
図8 トレンチ断面図（各種開発確認調査 02）	6
図9 調査地点位置図（各種開発確認調査 03）	7
図10 調査区設定図（各種開発確認調査 03）	7
図11 トレンチ 1・2 断面図（各種開発確認調査 03）	8
図12 調査地点位置図（各種開発確認調査 04）	8
図13 調査区設定図（各種開発確認調査 04）	9
図14 トレンチ 1・2 断面図（各種開発確認調査 04）	9

挿 表

表1 過去 5 年間の届出件数表	1
表2 遺跡別発掘届出件数表	1
表3 届出・通知・試掘依頼一覧	2

図 版

- | | | |
|-----|---------------------|---------------------|
| 図版1 | トレンチ1全景（各種開発確認調査01） | トレンチ2全景（各種開発確認調査01） |
| 図版2 | 調査地全景（各種開発確認調査01） | トレンチ全景（各種開発確認調査02） |
| 図版3 | トレンチ1断面（各種開発確認調査03） | トレンチ2断面（各種開発確認調査03） |
| 図版4 | トレンチ1全景（各種開発確認調査04） | トレンチ2全景（各種開発確認調査04） |

第1章 文化財調査の状況

1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中央部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約4.7平方kmである。海岸線に並行して南海本線が、町城南部を国道26号線が走り、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樅井川が流れ大阪湾に注いでいる。

2. 平成18年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町は、近年の財政状況の悪化により公共工事が減少し、民間の小規模な分譲住宅や共同住宅等の開発が多くなりつつある。



図1 田尻町位置図

平成18年度における文化財保護法第93条、第94条に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は8件である。そのうち民間開発が6件、個人住宅建築が1件、公共工事が1件となっている。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数4件となっている。過去5年間の文化財保護法関係の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成18年度調査地は表3のとおりである。

	個人 住宅	民間 開発	公共 工事	合計
平成14年度	8	2	4	14
平成15年度	4	1	1	6
平成16年度	2	1	2	5
平成17年度	0	17	0	17
平成18年度	1	6	1	8

(遺跡発見届出を含む)

表1 過去5年間の届出件数表

番号	遺跡名	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
1	田尻遺跡	13	5	2	1	5
2	大婦池遺跡					
3	船岡山遺跡			1	1	
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡	1		2	2	
8	羽倉崎遺跡			1		
9	樅井西遺跡					
10	林峯遺跡					
11	中島遺跡				13	3

(遺跡発見届出を含む)

表2 遺跡別発掘届出件数表

	申請者名	申請地	原因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	範囲外	開発確認	なし	なし
2	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	分譲住宅	中島遺跡	工事立会	なし	なし
3	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	分譲住宅	中島遺跡	工事立会	なし	なし
4	大阪府	田尻町大字吉見地内	道路拡幅	田尻遺跡	発掘調査	未調査	未調査
5	個人	田尻町大字嘉祥寺地内	個人住宅	中島遺跡	工事立会	なし	なし
6	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	田尻遺跡	発掘調査	なし	なし
7	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	共同住宅	田尻遺跡	発掘調査	なし	なし
8	個人開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	診療所	範囲外	工事立会	なし	なし
9	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	店舗付住宅	田尻遺跡	慎重工事		
10	個人開発事業者	田尻町大字吉見地内	農地転用	範囲外	開発確認	なし	なし
11	民間開発事業者	田尻町大字嘉祥寺地内	分譲住宅	範囲外	開発確認	未調査	未調査
12	個人	田尻町大字吉見地内	農業倉庫	田尻遺跡	工事立会	未調査	未調査

※太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3 届出・通知・試掘依頼一覧

3. 各遺跡の概要

1. 田尻遺跡

田尻遺跡は、木町の中央部に標高5m～7mにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。これまでに20カ所の調査を実施しているが、各調査の調査面積が狭小なため、遺跡の性格は不明である。これまでの調査で中世から近世にかけての粘土探掘坑や古墳時代から奈良時代ころと思われる小規模な溝などが、検出されている。須恵器、土師器、瓦器、陶磁器、瓦などが古墳時代から近世にかけての遺物が出土している。

2. 夫婦池遺跡

夫婦池遺跡は、田尻町の南部、泉佐野市にまたがる、標高7m～9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝状遺構、井戸、柱穴群、スキ溝が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器などが出土している。

3. 船岡山遺跡

船岡山遺跡は、田尻町の東部、泉佐野市にまたがる、樅井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置す

る縄文時代晚期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土壙、柱穴が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器等が出土している。

4. 嘉祥神社本殿

桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

5. 船岡山南遺跡

田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8m～10mに位置する弥生時代～中世にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市域で調査がおこなわれているが、遺構は検出されていない。遺物は土師器、瓦器が出土している。

6. 藤波遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～12mに位置する中世の遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で、溝、ピットが検出されている。遺物は瓦器、土師器、陶磁器が出土している。

7. 吉見藩陣屋跡

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高4m～5mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土採掘場などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。

なお、遺跡内には大阪府指定有形文化財（建造物）田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）がある。

8. 羽倉崎遺跡

田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3m～6mに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。

9. 横井西遺跡

田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～11mに位置する弥生～中世の遺跡である。これまでの泉佐野市教育委員会の調査で、弥生時代中期の方形周溝墓、中世の掘立柱建物址などが検出されている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器が出土している。

10. 林寄遺跡

田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高2m～4mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により土壙、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

11. 中島遺跡

田尻町の中央部に所在する標高3.5～4mに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土壙、小穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

遺跡地名表

番号	遺跡名	遺 墓	時 代	地 目	立 地	特 補
1	田尻遺跡	散在地	古墳	田・宅地	手拂塚(麻生谷の散在地)	
2	大崎山遺跡	散在地	古~中世	耕地・园地	手拂塚(麻生谷正門の散在地)	
3	鹿角山遺跡	散在地	古文~平安	田・园地	サヌカ(竹林在處)	
4	都井神社本殿	散在地	近世			守護社を有する古墳(都井神社)
5	駒込山山遺跡	散在地	古~中世	田・园地	手拂	
6	駒込山山遺跡	散在地	古~中世	田・园地	手拂	
7	吉見山待隈遺跡	散在地	中世	宅地	手拂	隣接有日神社と保存關係
8	羽合山遺跡	散在地	古墳	宅地	手拂	
9	鹿井山遺跡	散在地	古~中世	田地	手拂	
10	林ヶ森遺跡	散在地	近世	宅地	手拂	御田畠、桑牛十石
11	小島遺跡	集落法	中世	宅地	手拂塚、加賀郡、瓦谷	

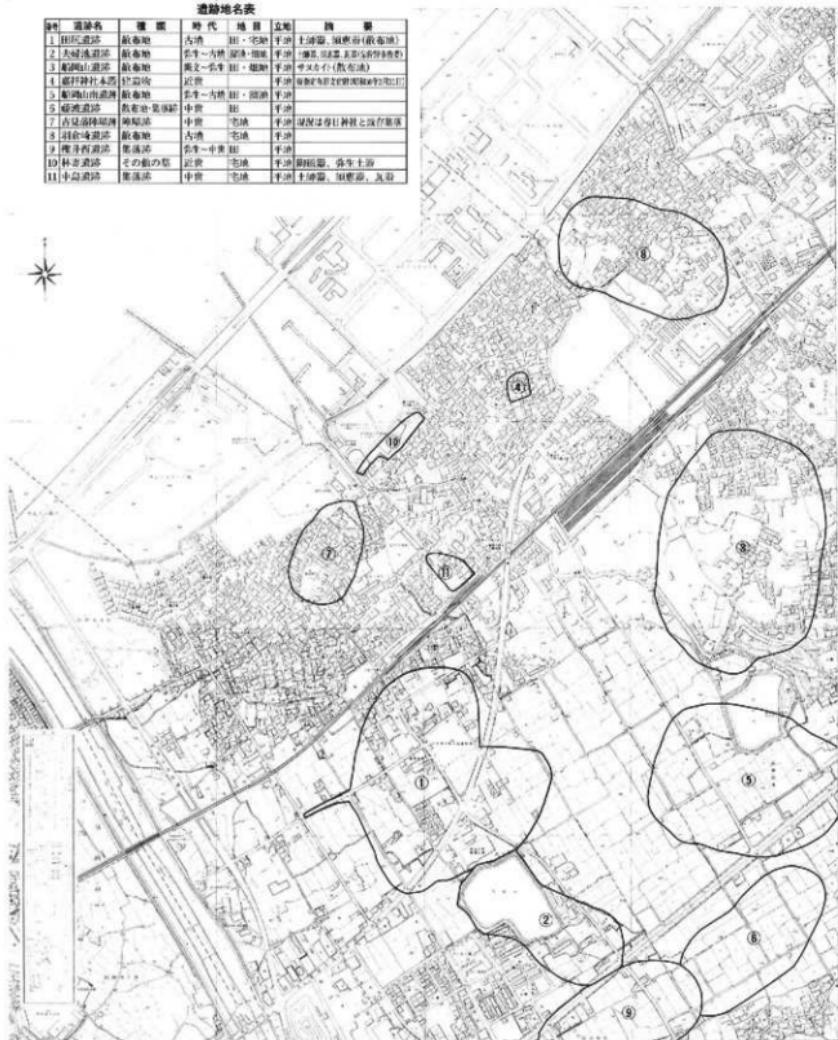


図2 遺跡分布図

第2章 調査の概要

各種開発確認調査01

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 共同住宅
5. 申請面積 546.94m²
6. 調査面積 8m²
7. 調査期間 平成18年5月17日～5月19日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う開発確認調査である。調査地は、旧来の古見地区集落の中心部の標高4.5mに位置している。調査地の付近には東側に淨林寺、正善寺の近世寺院があり、北側には孝子越街道が通り、吉見藩陣屋跡遺跡がある。

調査は、開発区域内に調査区を2カ所設定し、8m²について実施した。

トレンチ1

計画建物の北側部分に幅2m、長さ2mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行った。トレンチ1の層序は上から盛土（層厚約40cm）、黒褐色土（旧耕土、2.5Y3/1、層厚約15cm）、暗褐色土（旧耕土、10YR3/3、層厚約10cm）、にぶい黄褐色粘質土（旧床土、10YR4/3、層厚約10cm）、黒褐色砂質土（10YR3/2、層厚約10cm）、灰黃褐色砂（10YR4/2）の順である。工事掘削が及ばないので地山は確認していない。遺構、遺物は検出されなかった。

トレンチ2

計画建物の南側部分に幅2m、長さ2mの調査区を設定し、トレンチ1と同様に調査を進めた。トレンチ2の層序も上から盛土（層厚約40cm）、黒褐色土（旧耕土、2.5Y3/1、層厚約10cm）、暗褐色土（旧耕土、10YR3/3、層厚約10cm）の順である。工事掘削が及ばないので地山まで確認していない。遺構、遺物は検出されなかった。

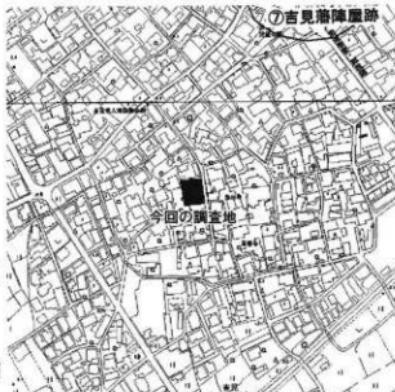


図3 調査地点位置図 (1/5,000)

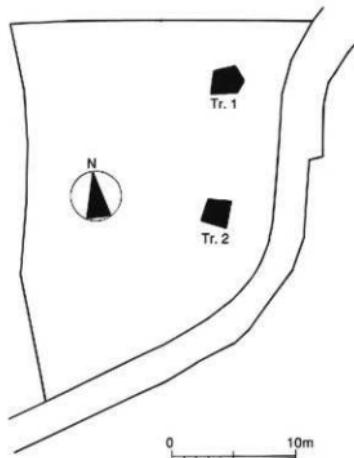


図4 調査区設定図 (1/400)

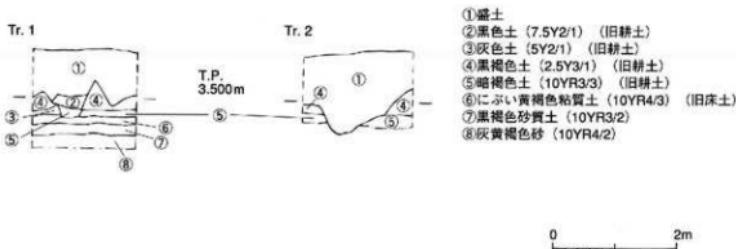


図5 トレンチ1・2断面図（縦1/40、横1/80）

各種開発確認調査02

1. 遺跡名 田尻遺跡
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 共同住宅
5. 申請面積 379.26m²
6. 調査面積 1m²
7. 調査期間 平成18年6月16日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う開発確認調査で、田尻遺跡の第21次調査にあたる。これまでの田尻遺跡の調査で弥生時代から古墳時代にかけての溝、近世の粘土採掘土坑が確認されている。



図6 調査地点位置図 (1/5,000)

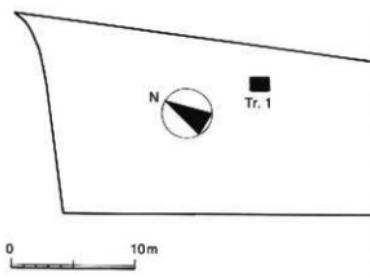


図7 調査区設定図 (1/400)

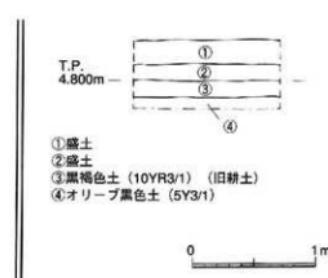


図8 トレンチ断面図 (1/40)

調査地は、町の中央部、標高5mに位置し、田尻遺跡の北端部である。調査は開発区域内に1カ所の調査区を設定し、1m²について実施した。調査地の北部に幅1m、長さ1mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行い、調査を実施した。トレンチの層序は上から盛土（層厚約30cm）、黒褐色土（旧耕土10YR3/1、層厚約15cm）、オリーブ黒色土（5Y3/1）の順に堆積している。下層は工事掘削が及ばないので地山まで確認していない。遺構、遺物は検出されなかった。

各種開発確認調査03

1. 遺跡名 田尻遺跡
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 共同住宅
5. 申請面積 1,167.61m²
6. 調査面積 2m²
7. 調査期間 平成18年9月13日
～9月15日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は共同住宅建築に伴う確認調査

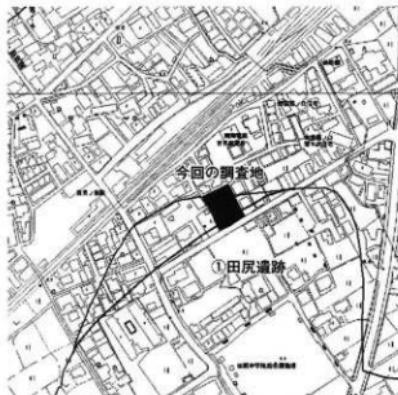


図9 調査地点位置図 (1/5,000)

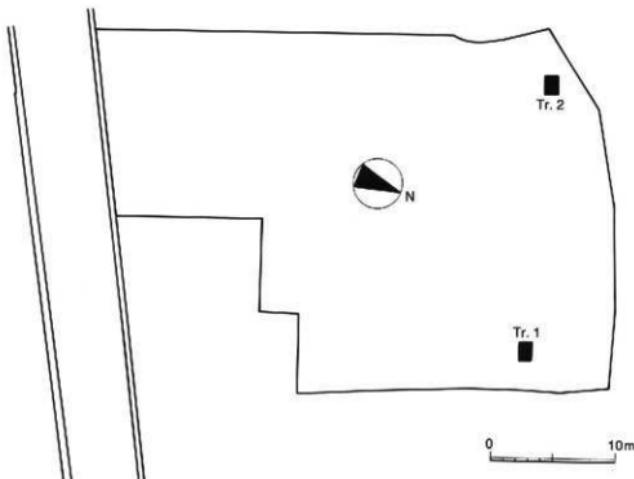


図10 調査区設定図 (1/400)

である。田尻遺跡での第22次調査にあたる。これまでの田尻遺跡の調査で弥生時代から古墳時代にかけての溝、近世の粘土探掘土坑が確認されている。

調査は申請地に2カ所の調査区を設定し、2mについて調査を実施した。

調査区の層序は上から盛土（層厚約20cm）、旧耕土（層厚約10~20cm）、灰褐色砂（5YR 4/2）の順である。下層は工事掘削が及ばないので地山まで確認していない。遺構、遺物は検出していない。

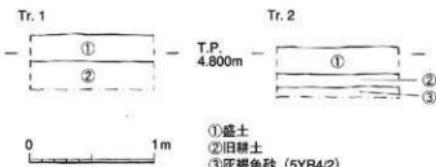


図11 トレーナー1・2断面図 (1/40)

各種開発確認調査04

1. 遺跡名 範囲外
2. 申請者 個人
3. 調査地 田尻町大字吉見地内
4. 調査原因 農地転用
5. 申請面積 337m²
6. 調査面積 5m²
7. 調査期間 平成18年11月7日
~11月9日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査の概要

今回の調査は農地転用に伴う確認調査である。調査地は町の南端部、標高7mに位置している。付近には調査地の北側に田尻遺跡が、東側には夫婦池遺跡が所在している。

調査は、2カ所の調査区を設定し、5m²について調査を実施した。

トレーナー1

今回の調査地の北端に幅1.2m、長さ2mの調査区を設定し、遺物・遺構の有無に注意しながら掘削を行い、調査を実施した。調査区の層序は、上から耕土（層厚約25cm）、黄褐色土（2.5Y5/3、層厚約15cm）、オリーブ褐色粘質土（2.5Y4/3、層厚約10cm）、黄褐色粘質土（地山、2.5Y5/3）の順である。遺構、遺物は検出していない。

トレーナー2

調査地の西部に幅1.2m、長さ2mの調査区を設定し調査を実施した。調査区の層序は上から



図12 調査地点位置図 (1/5,000)

耕上（層厚約20cm）、黄褐色土（2.5Y5/3、層厚約15cm）、地山の順に堆積している。遺構、遺物は検出していない。

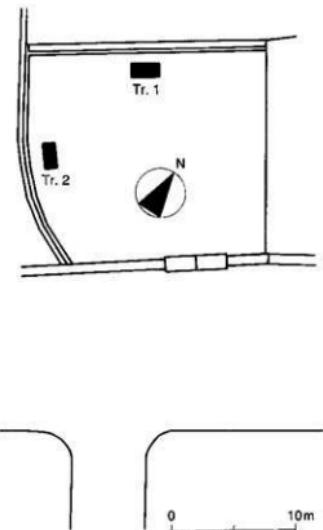


図13 調査区設定図 (1/400)

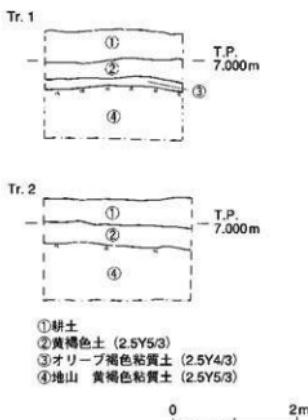


図14 トレンチ1・2断面図 (縦1/40、横1/80)

まとめ

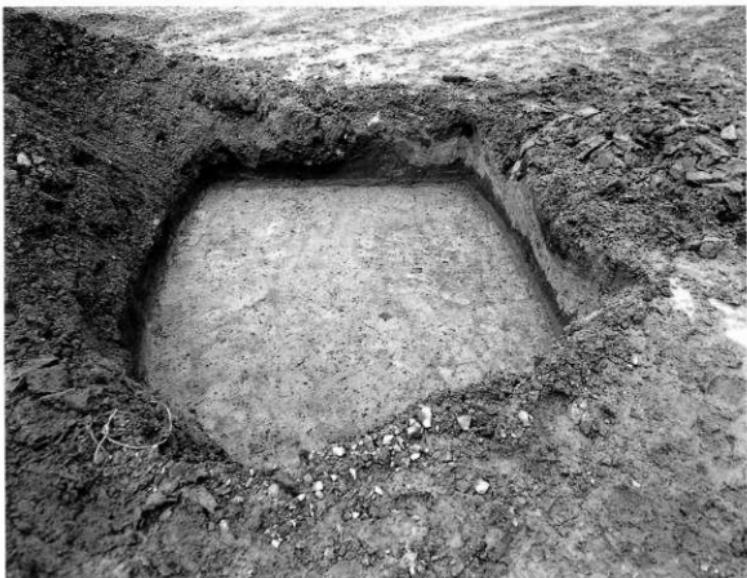
本年度の調査の結果、各調査から遺構、遺物の検出は認められなかったが、調査地点での土層の堆積状況や遺物包含の有無を確認することができた。今後も小規模な調査をとおして、遺跡についての詳細が明らかとなることを期したい。

(参考文献)

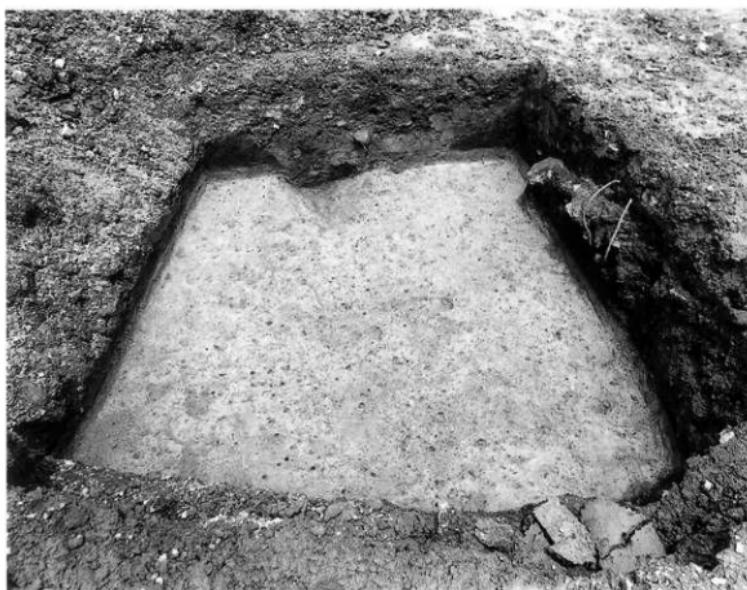
書名	編集・発行	発行年
「泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ」	泉佐野市教育委員会	1981.3
「昭和56年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ」	泉佐野市教育委員会	1982.3
「大阪府文化財調査概要 1984年度」所収 「田山遺跡発掘調査概要 付章 田山遺跡の調査」	大阪府教育委員会	1985.3
「昭和60年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ」	泉佐野市教育委員会	1986.3
「夫婦池遺跡発掘調査報告書」	泉佐野市教育委員会	1986.3
「昭和61年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅳ」	泉佐野市教育委員会	1987.3
「昭和62年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅴ」	泉佐野市教育委員会	1988.3
「昭和62年度 山辺遺跡・船岡山遺跡発掘調査概要」	大阪府教育委員会	1988.3
「昭和63年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅵ」	泉佐野市教育委員会	1989.3
「平成2年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要」	泉佐野市教育委員会	1991.3
「泉南郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ」	大阪府教育委員会	1993.3

『田尻遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	1994.7
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成6年度』	泉佐野市教育委員会	1995.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 第22号』	泉佐野市教育委員会	1996.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成9年度』	泉佐野市教育委員会	1998.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成10年度』	泉佐野市教育委員会	1999.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要1』	田尻町教育委員会	2000.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要2』	田尻町教育委員会	2001.3
『平成12年度 田尻遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	2001.3
『田尻町内遺跡群細分布調査概要』	田尻町教育委員会	2001.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要3』	田尻町教育委員会	2002.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要4』	田尻町教育委員会	2003.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要5』	田尻町教育委員会	2004.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要6』	田尻町教育委員会	2005.3
『田尻町内遺跡群発掘調査概要7』	田尻町教育委員会	2006.3

図 版



トレンチ1 全景（各種開発確認調査01）



トレンチ2 全景（各種開発確認調査01）



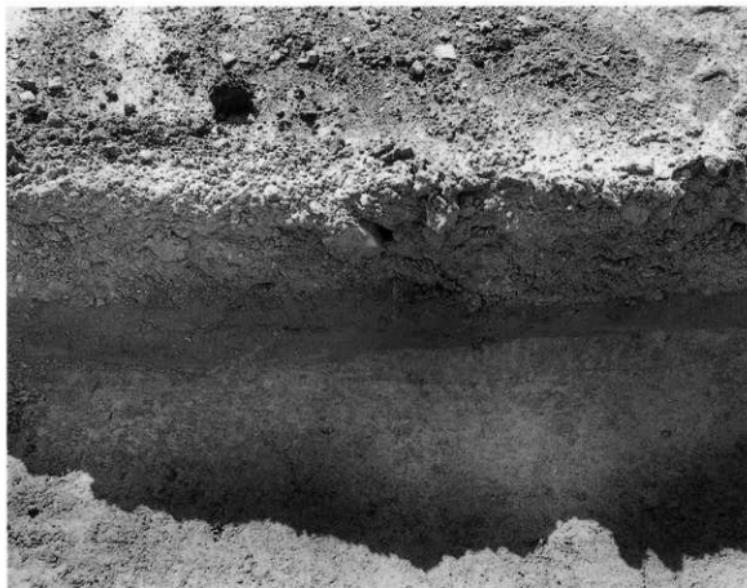
調査地全景（各種開発確認調査01）



トレンチ全景（各種開発確認調査02）



トレンチ1断面（各種開発確認調査03）



トレンチ2断面（各種開発確認調査03）



トレンチ 1 全景 (各種開発確認調査04)



トレンチ 2 全景 (各種開発確認調査04)

報告書抄録

ふりがな	たじりちょうないいせきぐんはくくつちょうさがいよう							
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要							
副書名								
卷次	8							
シリーズ名	田尻町文化財調査報告							
シリーズ番号	第15集							
編著者名	坂田裕美子、中野篤史							
編集機関	泉南郡田尻町教育委員会							
所在地	大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1							
発行年月日	2007年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 38' 991"	135° 28' 602"	平成18年 5月17日～ 5月19日	8	共同住宅 建築
田尻遺跡 第21次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 39' 079"	135° 29' 017"	平成18年 6月16日	1	共同住宅 建築
田尻遺跡 第22次	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 39' 094"	135° 29' 003"	平成18年 9月13日～ 9月15日	2	共同住宅 建築
遺跡範囲外	おおさかふ 大阪府 せんなんぐん 泉南郡 たじりちょう 田尻町 よしみ 吉見			34° 38' 487"	135° 29' 019"	平成18年 11月7日～ 11月9日	5	農地転用
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
遺跡範囲外			なし	なし				
田尻遺跡 第21次	散布地	古墳	なし	なし				
田尻遺跡 第22次	散布地	古墳	なし	なし				
遺跡範囲外			なし	なし				

田尻町文化財調査報告 第15集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 8

2007年3月

編集・発行 泉南郡田尻町教育委員会

〒598-8588

大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1

TEL 074-466-1000 (代表)

印 刷 株式会社小笠原印刷

大阪府泉佐野市上瓦屋646番地

